

令和3年度「大分県立大分雄城台高等学校」学校経営方針

※雄城台高校の使命※

確かな学力の向上と充実した進路指導で進学力の向上に努め、「文武両道の追求」「人権意識の高揚」を通じて生徒の人間力の向上を目指すことで、地域に信頼される学校となる。

〈学校教育目標〉

「誠実・自主・創造」の校訓のもと、社会において逞しく生き抜き、積極的に社会貢献できる生徒の育成。

〈中期目標〉

- ① 確かな学力の定着と3年間を見通した進路指導により、進路希望の達成を目指す。
- ② 真剣な学習活動と活発な部活動を通して「文武両道」を推進する。
- ③ 信頼関係に基づいた、手厚い生徒指導と積極的なキャリア教育により、心豊かで積極的な人材の育成を推進する。

(中長期のスパンで達成すべきもの)

【重点目標】(今年度、達成を目指すもの)

◎自己と社会を関係づけた進路目標達成のための「情報整理力」と「課題解決力」の向上 (文武両道推進部)

- ① 外部模試のG T Z B 1以上65名以上
- ② 授業の理解度・満足度 80%以上
- ③ 自主学习時間 1年2h、2年3h、3年4h以上が80%以上
- ④ 学校行事に積極的参加 90%以上

◎自他の安心・安全を保障する規範意識の醸成による「協働」と「自他の尊重」の向上 (人間力育成部)

- ① 「あいさつの励行」「清掃の徹底」の保護者評価 85%以上
- ② 自転車事故件数前年比 70%以下
- ③ 安心して学校生活を送れる学校だと思える割合 90%以上

◎保護者、同窓会、地域との連携・協働による「発信力」と「チャレンジ精神」の向上 (教育環境企画部)

- ① 保護者の学校満足度 85%以上
- ② 同窓会や地域の産業界との連携事業年3回以上
- ③ HPの積極的更新 150回以上と毎月の広報誌発行

【生徒の指標】(生徒たちに伝えて欲しいこと)

- ① 普通科で学び、進路選択をすることの意味の認識～キャリア意識(10年後の社会が見えているか) 持続可能な社会の構築に貢献できる人材への成長
- ② 高い目標の設定と正しいタイムテーブルの設定による目標達成～正しい進路研究 到達すべき学力の把握 学習時間の確保
- ③ 知に偏らない健全な高校生としての在り方の追求～部活動への取り組みの奨励 生徒会活動の活発化
- ④ 高い人権意識を持って生きること～「協働」・「自他の尊重」・「時代に流されぬ平和の希求」
- ⑤ 地域や周囲の人々の支えに対する感謝と信頼のお返し～明るい挨拶 清潔な頭髪服装 適切な振る舞い 進路目標の達成

【教職員の取り組み】

- ① 全職員の学校経営参画…「チーム雄城台」を合言葉に、協働による信頼される学校作り
- ② ESDを意識した教育課程研究…持続可能な社会の構築に貢献できる資質・能力を育成する指導と評価の研究
- ③ 授業改善…読解力(情報整理力)・思考力(課題解決力)・表現力(発信力)を育成する授業構想の研究
- ④ 生徒理解の徹底…人間関係づくりプログラムによるいじめ・不登校をうまない学校づくり 学習環境と授業のユニバーサルデザイン化 特別支援教育コーディネータとの連携
- ⑤ 「開かれた学校づくり」の取り組み…保護者・同窓会・地域との積極的な連携
- ⑥ 前例踏襲主義の払拭…最新の課題の正確な読み取りと反応(分掌会議・学年会議・教科会議の活用)
- ⑦ 積極的な研修への取り組み…県教育センター、高教研等の研修への参加

【学校全体として取り組むこと】

難関大5名を含むブロック大以上20名、国公立大100名以上合格へのチャレンジ

教育環境の整備と緊密な連絡可能な組織づくり

情報公開と地域連携